



編集・発行
 大阪府立刀根山支援学校
 本校教育部・訪問教育部
 ☎06-6853-0200
 精神医療センター分教室
 ☎072-847-6951
 阪大病院分教室
 ☎06-6876-5229
 関西医大滝井病院分教室
 ☎06-6995-5215
 関西医大枚方病院分教室
 ☎072-845-7033
<http://www.osaka.c.ed.jp/toneyama.y/>

「ご卒業おめでとうございます！」

校長 横山 強

少し前に入学式を行ったように思いますが、月日の経つのは早いもので私が校長になって2度目の卒業式が近づいてきました。本校を卒業する皆さん、皆さんは刀根山支援学校を卒業します。引き続き学校で勉強する人、社会に出て活動する人など進路はさまざまです。しかし、刀根山支援学校で学んだことに自信を持ってください。それでも困ったことや後輩に伝えたいことなどがあればいつでも学校にきてください。連絡でも構いません。卒業しても皆さんは刀根山支援学校の仲間です。

さて、いわゆる「障害者差別解消法」がいよいよ4月1日に施行されます。大阪府では、職員が適切に対応するための要領として、「大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応規程」及び「同要綱」を定めます。また、障がいや理由とする差別について府民の皆さまの関心と理解を深めることを目的として、「大阪府障がい者差別解消ガイドライン（案）」が策定されました。このガイドラインには、障害者差別解消法に基づき、何が差別に当たるのか、合理的配慮としてどのような措置が望ましいのかなどについて基本的な考え方や具体的な事例等が記載されています。差別をなくすためには、「理解し合うこと」、「対話すること」、「考えること」が大切です。卒業生の皆さんは今後も差別をしない、させないために何が大切かをしっかり考えより豊かな生活を送ってください。あらためてご卒業おめでとうございます。

【小学部卒業を迎えて】

SRさん、ご卒業おめでとうございます。体調がすぐれない日もありましたが、一年間いろいろな学習を頑張りましたね。お父さんと一緒に学校に登校できた時には、とても良い表情をしていたのが印象的でした。4月からは、中学生です。中学部でも学習の中から、たくさんのお話を吸収してください。さらなる成長を期待しています。

【中学部の卒業を迎えて】

SSくんご卒業おめでとうございます。中学部の3年になったとき、後輩がたくさん入ってきて、最初とても緊張していましたね。でも、生徒会の副会長になり、みんなの意見をよく聞いて、まとめてくれていました。後輩たちのすることをいつもやさしく見守ってくれていました。中学部最後の文化祭では、司会、歌、落語、劇とマルチに活躍していましたね。高等部に進んでも、いろいろなことに挑戦して行ってください。

【高等部の卒業を迎えて】

OTさん、NSさんご卒業おめでとうございます。いつも笑顔で登校し、同級生をはじめたくさんの友達と楽しい会話をとても仲良く過ごしていましたね。卒業しても本校での思い出や仲間との絆を大事にしてください。

本校教育部 教職員一同

ご卒業おめでとうございます。中学部の生徒は、学習発表会などの行事への取り組みを通して、とても成長しました。分教室での思い出を力にかえて、新たな道を切り開いて下さい。

小学部の児童は、学習発表会などの行事、算数や国語などの授業、友だちと楽しくすごした休み時間、自分らしくキラキラと輝く場面がたくさんありましたね。4月からはいよいよ中学生です。中学生としての自覚と信念をしっかりと持ってこれからもがんばってください。

精神医療センター分教室 教職員一同

CTくん、ご卒業おめでとうございます。本校に入学してからあっという間の9年間でした。

初めは高槻病院の集中治療室での限られた時間で、小さな声で歌を歌う授業からスタートしましたね。リハビリ病院に転院し、中学部になってからは、ほとんど休まず授業を受けることができました。誰からも愛されるCTくん、これからも自分のペースで豊かな高校生活を送ってください。

訪問教育部 教職員一同

作品展 2月17日(水)～2月28日(日)にかけて、今年も蛍池公民館の図書館前展示コーナーにて、刀根山支援学校児童生徒作品展が行われました。本校、訪問、各分教室の子供たちが頑張った作品が一堂に集まり、それぞれの取り組みの違いから作品への工夫が感じられました。華やかで楽しい雰囲気のある展示会でした。来年度も開催する予定をしています。機会があればぜひ、ご来場ください。

本校教育部

卒業の言葉

高等部の卒業を迎えて

高3「OT」 中学部の途中から刀根山に転校してきました。学校の5年間は楽しい思い出がいっぱいあります。特に思い出に残っている事は、中学部の修学旅行で行った福岡ドームで3塁側のベンチに座ったことです。高等部3年生の時は、体育祭のキャプテンになり選手宣誓をしたことが思い出に残っています。うれしかったです。春からは、ここで過ごした事、学んだ事を忘れずに新たな一步を踏み出します。これからも応援よろしくをお願いします。

「NS」 高等部の3年間、たくさんの出来事がありました。その中でも、高2の時に修学旅行で東京に行ったことは、記憶に残る思い出になりました。そして、高等部最後となった今年の文化祭では、同級生2人で有志発表の表演大賞をとることができてとても嬉しかったです。僕は6年間刀根山支援学校に通い続けてきました。学校で過ごした時間は短く感じましたが、今年までの学校での楽しい出来事や、大切な思い出を、忘れないようにしたいと思います。

中3「SS」 この三年間で、たくさんの思い出があります。中1のとき、初めての文化祭で時代劇をしました。かつらや衣装をつけて、撮影したのが楽しかったです。中2のとき、名古屋に修学旅行に行きました。リニア鉄道館でジオラマを見学したり、リニアモーターカーの時速500kmの体験をしたりしました。中3のときに大きな手術をしました。とても大変でした。でも、手術を乗り越えて今は食欲が以前より出てきて元気に過ごせています。

小6「SR」 学校に行く機会は少なかったけれど、音楽交流会やお楽しみ会などみんなと一緒に過ごすことができて、よい思い出ができました。中学部に進学しても、刀根山支援学校の仲間としてみんなと一緒にいろいろな活動したいです。これからもなかよくしてください。

「文化祭」

1月31日(日)

平成27年度のテーマは「Run For Our Dream ~挑み続けろ~」でした。午前中からたくさんの方に来て頂き、本校教育部児童生徒による縁日や訪問教育部・分教室・地域の中学校・高等学校・病棟の皆さまの作品展等見所満載のスタートとなりました。午後からはバラエティ豊かな全11組による有志発表で、大いに盛り上がった文化祭となりました。

訪問教育部

■■■卒業おめでとう■■■

先生ありがとう

C Tと保護者より

病院生活が長かったC。学校は唯一の楽しみのある場所でした。一時期命が危険な状態もありましたが、奇跡的に回復してからは休まず授業を受けました。先生の書いてくださるノート、作品を見て充実した授業を受けていたことが親の私にも分かり楽しめました。慣れ親しんだ先生方の声が聞こえなくなるCも寂しくなると思います。Cにとって忘れられない3年間になりました。先生ありがとう。

■■■授業紹介 ~書き初め~■■■

愛仁会リハビリテーション病院、森之宮病院の児童・生徒たちは、張り切って書き初めに挑戦しました。それぞれの思いや夢を文字や絵に託して書き上げました。どの子どもたちも楽しく書くことができました。



■■■作品展示■■■

本校で作品展が開かれ、訪問教育部からも今年度の作品を展示しました。力強く書いた書き初めを筆頭に、淡い水彩絵の具を使って描いたにじみ絵、季節に合わせて作成したものではクリスマス飾り、ぶんぶんゴマなども紹介しました。どの作品も素敵で見ている人の心を和ませていました。



精神医療センター分教室

◆◆◆卒業式に向けて◆◆◆

卒業制作では、在校生に必要で喜んでもらえる物は何かを皆で考えました。その結果、体育の着替えで使う目隠し用カーテンを製作することになりました。出来上がりを想像しながら、綺麗に染め上げました。答辞の文章は、分教室でがんばったことや成長したことなどを、思い出と共に振り返りながら考えました。また、本番の緊張を和らげるために、個人に注目が集まる卒業証書の受予されときの練習も繰り返し行いました。

在校生は卒業生へのメッセージビデオや、卒業生へのプレゼント作りをしました。卒業生たちのことを思って、一生懸命がんばりました。

思い出に残る良い卒業式になってくれると思います。



◆◆◆宿泊学習◆◆◆

中学部2年の3名で、姫路市にある星の子館に1泊2日の宿泊学習に行ってきました。

一日目の姫路市立水族館では、クイズラリーをしながら生き物の観賞をしました。特に、神秘的なくらげ水槽や可愛らしく動くペンギンの姿が印象的でした。宿舎の星の子館では、おいしい食事でみんな大満足でした。夜は、澄んだ空気の中、夜空を見上げ天体観測を楽しみました。2日目は、あずきミュージアムで工場の見学をした後、回転焼きを購入して食べました。

普段とは異なる環境や学習で、少し疲れたようですが良い学習になりました。



阪大病院分教室



この春、卒業を迎えられるみなさん、ご卒業おめでとうございます。一步一步前に進んで行かれるよう、願っています。

◎正月遊び1月15日(金)

待ちに待った「お正月遊び」の日が来て、生き生きしながら子どもたちが登校してきました。

はじめに「書き初め」では文字をピンクにするか水色にするかを各自で選び、「春」や「夢」の文字を書きました。



新春にふさわしい爽やかな色合いの素晴らしい作品が完成しました。次に「凧作り」をしました。やわらかいシートで作った小さな凧に、それぞれ好きなイラストを描きました。その凧を、新聞紙で作った棒に糸でつないで完成です。棒を大きく振って凧あげを楽しみました。

最後に「ぼうずめくり」と「こま回し」をしました。

ぼうずめくりは、先生の説明を聞いてから百人一首の札をめくります。大逆転の札が出ることもあり、最後まで勝負がわからないゲームでした。



こま回しは紐をまくことが難しい遊びですが、何度か練習していると上手に巻くことができるようになりました。子どもは、先生に巻いてもらったこまを投げて、回す練習をしました。みんな目を輝かせながらこま回しを楽しんでいました。

◎作品展 1月20日(水)～26日(火)

阪大病院6階小児科病棟テイルームで子どもたちの作品を展示しました。

書き初めやお正月遊びの時の作品、また図工や美術の時間に作成した作品を、病院や保護者の方々に鑑賞していただきました。



関西医大枚方分教室

おせち作りしました！



「1月と言えば？」 「おせち！！」

先生の質問に即、答えた子どもたち。とても熱心にエネルギーにおせちを作りしました。そして鏡餅もお供えてお正月準備はばっちり。「これを見ていたらおなかがすいてくる…」と看護師さんの声もきかれたほどです。お家のおせちを頭に浮かべていろいろなお料理が入りました。



書き初め



新年が始まってすぐ書き初めをしました。姿勢や気持ちを整えて、集中して書きました。気に入る作品ができるまで何度も書く子や、力強く一枚にける子、それぞれの個性が書にも表れています。



2月の掲示板

「鬼は外！
福は内！」

手強そうな鬼や、髪型にこだわるおしゃれな鬼などそれぞれユニークな鬼を作りしました。ニコニコの鬼もいてなんだか楽しそう☆でも、病気鬼も風邪ひき鬼も、あっちいけ～！みんなにたくさんの福が訪れますように☆

関西医大滝井分教室

オーストラリアについて勉強したよ！

11月27日(金)には、国際理解学習として、大阪府国際交流財団よりネイティブの先生をお迎えして、オーストラリアについて勉強しました。



オーストラリアの国旗や、気候、文化、アボリジニの方々についてなどたくさんのお話をしてくださいました。面白い先生で、楽しい時間を過ごすことができました。教えていただいたオーストラリア特有の口語表現は、イギリスやアメリカの英語の発音とは微妙に異なり、とても発音がしにくくて苦労しました…。

オーストラリアで盛んなラグビーについて話を



れている時には、地元校でラグビー部に所属している生徒が特に楽しそうにしていました。鮮やかな色の制服や、日本よりゆるやかな校内ルール、お庭の芝の上で女子生徒たちが真剣に

ただく食食などの話題では、聞いていました。盛りだくさんのお話の中でも、生徒たちはオーストラリアの学校についてのお話がとても興味深かったようです。

世界には日本と文化や習慣が違ういろいろなところがあるって感じてくれたかな？



チャレンジテスト！

1月13日(水)に、チャレンジテストを行いました。大阪府では、公立高校入試の調査書が相対評価から絶対評価に変わるなど、大きな変化の波の真ただ中です。チャレンジテストの説明を事前に受けて、さあスタート。1年生は3教科、2年生は5教科を一日で受験しました。病気と闘いながらのテスト受験。体の症状に向き合いながら、力を出し切りました。「もう長いわ」と本音もぼつりといいいながら、問題を解く姿は頼もしかったです。地元校に戻っても、頑張ってくださいね。